

第3回 江南市新体育館建設検討委員会（専門部会）に関する議事録

●日時 平成25年9月27日（金） 午後3時25分～午後5時30分

●場所 江南市民体育会館 2階 第1会議室

●出席者 出席委員13名

水野 勲 (江南市体育協会理事長) ※副委員長
 脇坂 康彦 (江南市体育協会常任理事)
 石井 雅彦 (江南市体育協会常任理事)
 駒田 庸 (江南市スポーツ推進委員会会長)
 河合 正猛 (江南市スポーツ少年団本部長)
 高橋 政稔 (名城大学教授) ※委員長
 畑中 まゆみ (古知野北小学校長)
 鈴木 浩樹 (一般公募者)
 安部 由紀子 (一般公募者)
 松岡 英子 (一般公募者)
 石井 悦雄 (江南市教育長)
 滝 正直 (江南市経営企画部長)
 鈴木 慎也 (江南市教育部長)

欠席委員1名

山田 金重 (江南市体育協会理事)

■委員長あいさつ

■議事

1. 議題	
委員長	では、議題（1）第2回検討委員会の議事録についてです。事務局説明をお願いします。
事務局	(第2回検討委員会の議事録の確認) ※その他、意見もなく、議事録の内容について了承。 今後、市ホームページに掲載していきます。
委員長	議題（2）体育会館施設利用実態調査の結果報告についてです。事務局説明をお願いします。
事務局	議題（2）は体育会館施設、議題（3）は市民プールの利用実態調査の結果報告でございますので、一括説明をさせていただきます。 まず、議題（2）体育会館施設利用実態調査の結果報告についてでございますが、前回、中間報告として説明をさせていただきましたが、競技場利用者数が少ないというご指摘もございまして、追加調査等させていただき、競技場利用者88人、トレーニング室利用者117人の方から回答をいただいております。 ※資料2を説明

続きまして、議題（３）市民プールの利用実態調査の結果報告についてでございます。これは、市民プールの利用者を対象にして行ったもので、239人の方から回答をいただき、利用者の属性や市民プールの利用状況、満足度などが主な調査内容となっております。

※資料3を説明

委員長

何かご質問やご意見はありませんか。

（２）の体育会館施設利用実態調査について、前回報告されたものに人数等がプラスされたものと考えてよいですか。

事務局

今回は、あくまで中間報告でございましたので、今回は最終的な集計結果となります。また、競技場を利用される方が少ないのではないのかといったご意見もございましたので、追加調査等行ったものを掲載してございます。

委員

体育会館施設利用実態調査での自由意見で、「民間スポーツジムとは違う形で良さを出して欲しい。」という意見があり、私もこのことには全く同感です。特に高齢者の方は、器具があってもあまり使わないとか、重たいものを上げると腰を痛めたりしてしまう、そのような意見を聞きます。健康体操のようにハードな器具を使わなくてもできる運動もありますので、そういった点で民間とは差別化することも大切なことだと思います。

また、市民プールの利用実態調査での自由意見で、「リハビリを兼ねた設備を設ける。」という意見があり、特に水中は体への負荷があまりかかりませんので、そうした設備を設けることは健康を考える上では有効だと思います。しかし、新たなプールを建設することに関しては、前回の会議でも申し上げましたが、多大なコストがかかりますので、他の施設を利用したり、将来のプールの建設等において考える必要があると考えます。

委員長

それでは、（４）周辺体育館施設状況調査の結果報告について事務局説明をお願いします。

事務局

（４）周辺体育館施設状況調査の結果報告について説明をさせていただきます。この調査は、江南市近隣にございます体育施設のうち、比較的近年に建設されたもので、今後の建設に向けて参考にしていくために行ったものでございます。

建築・延床面積、駐車場、施設の概要やその利用状況などについて、小牧市・一宮市・岩倉市・北名古屋市・名古屋市などにごございます体育施設に調査を行いました。

※資料4を説明

委員長

何かご質問やご意見はありませんか。

委員 施設の中には、プールを併設しているものもありますが、プール部分の建設費は分かりますか。

事務局 全体での費用となっておりますので、その部分だけの費用は分かりません。

委員 ここに記載されている施設は、ほとんど利用したことがあります。特に名古屋市で記載されているものは、すべてスポーツセンターで各区に1つずつ体育館を作ろうということで整備されたもので施設としては小さいです。競技を行うには少し使い勝手が悪いので、江南市が建設しようとしている体育館の参考にはならないと思います。私は、豊田市にあるスカイホール豊田が参考になると思います。施設としては、かなり大きいのでそれを小さくした形になるとと思いますが、トイレの位置など利用者の使い勝手が良い施設です。

委員 この場をお借りして、ご報告させていただきたい事項がございます。新体育館建設について数年前になりますが、当初人口規模などが似ており比較的新しい体育館であるということから、日進市の体育館を参考にしておりました。総工費はおおよそ45億円前後です。市の歳入や歳出も刻々と変化する中で、今後の江南市における大型プロジェクトを踏まえた財政シミュレーションをいたしましたところ、このままでは歳入が大幅に不足することになり、この新体育館の建設で確保できる財源は約30億円前後の予算ということになりました。約30億円の内訳は、建設費で約25.8億円、これに設計費、監理費、解体費、駐車場整備費、備品購入費などをあわせたものです。また、防災拠点ということで、飲料水用の井戸掘削や耐震性貯水槽などの整備に関する費用も今後検討していくこととなります。

そこで、1つの目安となりますのが守山スポーツセンター（延床約10,400㎡）や北名古屋市健康ドーム（延床約7,500㎡）で、ここでの建設費を参考としまして今の予算額を算出してあります。特に北名古屋市健康ドームはすぐ近くにある施設でございますので、一度見ていただくことも参考になると考えております。

委員 市では、平成29年度までの4年間の大体の歳入・歳出を把握しておりまして、一般財源の歳入はおおよそ193~195億円前後を維持しており、大きく増える要因があまりない中、歳出は高齢化などにより医療費は大幅に増えています。また鉄道高架事業、ごみ処理施設建設事業など大型プロジェクトもありまして、このままの予算規模でいきますと財政調整基金という家計でいうならば貯金が約23億円程ありますが、それをすべて使い果たしてしまうことになり、予算的には約30億円程度でお願いしたいということになります。

委員 消費税も上がるかもしれないという状況の中、全体の予算としていくらか下がることはあっても、45億円から30億円と1/3も予算が下がることなんて、これまでどのような予算の立て方をされていたのですか。高齢化の話は、ここ数年の話ではなくかなり以前から分かっていることです。ある程度の予算の話は、昨年も出ていたことであり、今になってそうした話が出てくることはおかしいと思います。

また、特にオリンピックが日本で開催されることが決まった以上、これから建設に係るコストは確実に上がることが考えられます。よりよいものができればそれにこしたことはないですが、今の予算規模ではかなり難しいのではないのでしょうか。

委員 45億円という話は、数年前に新体育館の建設の話が出ました時に概算で出したもので、その後、市が行う大型プロジェクト事業もこの体育館建設を含め状況は変わってきています。そうした中、市全体の予算規模でのシミュレーションを行いました結果、45億円では困難であり約30億円程度がその範囲内で可能な数字であるということになったわけでございます。

委員 今の予算規模で、目指すべき体育館ができればいいですが、個人的な考えでは、かなり縮小された体育館しかできないと思います。委員長は、どのように思われますか。

委員長 私も心配しております。ただ、ない袖は振れないということであれば、何とかお金を増やす方法も考えてはどうかと思います。例えば寄付を募るとか、皆さんが利用する体育館ですので市民協力ができるレベルで考えてみてはどうですか。

委員 今、予算の話が先行していますが、まずどのような体育館にしたいのか、それが重要なことであって議論を進めていく過程において予算を考えるべきだと思います。予算の話を行ってしまうと、そのことに非常に制約を受けてしまい、結果的にまた使い勝手の悪い体育館になってしまう場合があります。一度作ってしまったら、作り直すことは簡単にできませんので、まずは使い勝手の良い体育館を考えるべきだと思います。

委員 市では戦略計画を立てておまして、来年度から29年度までの4年間を後期計画としてこの8月頃から財政的な長期的シミュレーションをしておりました。もちろん新体育館建設事業もその中に入っているわけで、市の財政状況も非常に厳しい中、当初の計画通り進めてしまっただけでは、市の健全な財政運営ができなくなってしまう可能性があるということで、適切な予算額を示させていただきました。

委員	中途半端なものを作ってしまうと、結果的に使い勝手の悪い体育館になってしまうと思います。ですから、まずは、使い勝手の良い施設づくりを考え、結果的にそれが、30 億円なのか 40 億円かかるのか分からないですけども、しっかりと検討する必要があると思います。
委員	30 億円では悪い施設で、40 億円かければ良い施設ができるという議論になってしまっているような気がします。予算的にはかなりの減額となっていますが、施設全体の規模は、約 8,000 m ² を予定しておりますので、現行よりも大きなものとなります。豪華絢爛な施設を作るということではなく、正式なコートが確保できている一般的な施設を作るということで考えております。その上で、北名古屋市の施設はかなり参考になると思っております。これから約 30 億円ということ considering、具体的な体育施設のイメージを描いていくということをしていきたいと考えております。
委員	健康ドームは、体育施設ではないのではないですか。バレーボール 2 面しか取れないですよ。バスケットボール 2 面取れるのですか。これでは、体育施設とは言えないですよ。
事務局	バスケットボールが 2 面取れる施設です。
委員	他の委員もおっしゃっているように、どうも話がおかしいと思います。30 億円ありきの話となっています。
委員	この新体育館は、体育館だけの機能ではなく、避難所としてもなっているのではないですか。
事務局	避難施設等にもなります。
委員	そうすると、救援物資の集積場とかにもなると思われるので、そんなにいい加減なものを作るわけにもいかないですよ。
委員	いろいろな国の補助金もありますよね。
事務局	一般的に社会体育施設の交付金などを予定しております。その他、防災の備蓄倉庫などへの部分的なものもあります。ただ、面積の上限などもございますので、全体的な額は限られてきます。
委員	近隣ですと犬山市が平成 28 年だったと思いますが、新しく体育館を建設すると聞いていますが、そのあたりの状況は把握されていますか。
事務局	詳細については、まだ伺っておりません。現在、まだ設計中ではなかったかと思います。3 月頃には工事費など詳細なものが出てくるかと思えます。

事務局

資料 4 の調査結果からも分かるように、建築単価というものは施設ごとにバラつきがありなかなか定まっていけないのが現状であります。日進市の 45 億円の件も、立体駐車場があったり屋根の部分もかなりこだわって建てている部分もありますので、その分費用が高くなっていると思われまます。今の 30 億円の予算では、守山スポーツセンターや北名古屋市健康ドームの単価が参考になっておりますが、設計デザインで凝らなければある程度の面積を確保したものができないのではないかと考えております。

各委員がおっしゃられるように、まず施設内容を検討した上で予算を考えるということもよく分かりますが、これはニワトリが先か卵が先かの議論と一緒に、一度 30 億円という規模で検討してみてもどうかと思います。30 億円の中でもある程度のものでできると申し上げましたが、結果的にできる部分とできない部分が出てくるとも思われまますので、そうした場合に最終的にどこかを削らないといけない場合もありますので、そうしたこともしっかりと議論しておくことも重要だと考えまます。

委員

今言われたように、メインアリーナ、サブアリーナ、会議室など作る面積は大体決まっているのだから、予算も自ずと決まってくると思います。外観のデザインも凝ると高くなるかもしれませんが…。

委員

委員が言われるように、一度それにどの程度かかるのか示したものをたたき台にして話を進めたらどうでしょうか。

委員

30 億円という予算の中では、これまで示してきましたあれもこれもといった機能をあわせ持つことは困難だけれども、ある一定の機能を持った施設は何とかできるだろうと考えておりますので…。

委員

そうは言うものの、敷地面積もある程度限られているのだから、一度どの程度かかるのか出してみてもどうでしょうか。

委員長

一番大事なことでするので、皆様のご意見を聞いて進めていく必要があります。私もこの予算の中でできることはできると思ひまます。しかし、実際に利用される皆さんのことを考えて使い勝手の良いものにしなければなりませんし、予算のことも皆さんで考えて、工夫して良い知恵を出し合って考えていかなければなりません。

委員

本当に豊田の施設はいいですよ。非常に使い勝手が良い。体育館に付随する施設の配置などもよいです。

委員

江南市でそのものと全く同じものを作る訳ではなく、ここにふさわしい施設は何かを検討していくわけですので、施設の概要や

仕様はこれから議論すべきことではないでしょうか。

委員長 続きまして、(5) 市民体育会館及び市民プールの利用者数の推移について、事務局説明をお願いいたします。

事務局 これは前回お示しした資料でございますが、平成 24 年度の利用実績が反映されておりましたので、それを追加した資料でございます。

委員長 体育館の競技場の利用実績が H23 年度と比べると H24 年度は少ないように感じますが…。

事務局 昨年度は、競技場の照明器具の取換え工事などがございまして、競技場を利用できない期間があったことが主な要因だと思います。

委員長 それから、市民プールの利用状況で今年はどうでしたでしょうか。

事務局 ここには、H25 年度の状況は記載してございませんが、例年並みの状況でした。

委員長 (6) 新体育館建設に伴う関係各課への意向確認ヒアリング結果について、事務局説明をお願いいたします。

事務局 新体育館建設に際しまして、防災安全課、下水道課、教育課に対して意向確認のためのヒアリングを行いました。

防災安全課とは、防災施設や付属設備などについて、下水道課とは下水道の接続について、教育課とは現行少年センターや適応指導教室のあり方についてなど、意向確認をしたものでございます。

※資料 5 を説明

委員 自家発電装置とは何ですか。

事務局 災害時などの非常用の電源を確保するもので、現在の体育館にもあるものでございます。

委員 例えば、防災倉庫や貯水槽などについては、現在体育施設全体の中に含まれておりますが、防災安全課との協議の中で具体的に話が進んでいけば、実際には防災安全課が交付金などを申請していくこととなりますので、設置するのにかかる費用と実際に市が負担する費用とは異なってまいります。

副委員長	電源について、ソーラーシステムとなっておりますが、ガスはどうされるのですか。私の家も含めて、一般家庭ではオール電化などがかなり普及している状況ですが…。
委員	これも重要なテーマでありまして、空調については初期投資をしてでもランニングコストとして安いものを設置する必要があると考えます。この電源は、太陽光発電で蓄電できるものを想定しております。
委員	体育会館施設利用者実態調査の中にもサウンドバグを設置して欲しいという意見もありましたが、スポーツはストレスを発散することができる役割もあります。大人も子供もそうした場が必要なのではないかと思います。
委員長	(7) 江南市新体育館基本計画に係る基本テーマと整備方針(案)について、事務局説明をお願いいたします。
事務局	<p>それでは、(7) 江南市新体育館基本計画に係る基本テーマと整備方針(案)について、説明をさせていただきます。</p> <p>これは、新体育館建設基本計画の骨子案でございまして、今後これをたたき台として検討をしていきたいと考えております。</p> <p>※資料7を説明</p>
委員	メインアリーナゾーンの配置ですが、市営グラウンドに食い込むことになるのですね。
事務局	各種競技のある程度のコート数を確保しようとするすると、出ることになります。ただ、構造的な部分でどのような形がよいのか、最終的に出てしまうということになりますと、例えばその部分の角を切るなど、今後検討していくことになります。
委員	新体育館の建設敷地は、テニスコートを含めた面積で考えてよろしいですか。現在の市営グラウンドも狭い状況の中、新体育館が食い込んでくるとなるとさらに狭くなってしまいますが…。
事務局	現在のところ、基本的には市民プール跡地を建設予定地としております。大きなアリーナを作るということであれば、当然その分食い込んでくるのが考えられます。
委員	あくまで個人的な意見ですが、この図は現段階において配置を試みただけでありまして、まず野球場のラインを引いて残りの部分で新体育館が納まるかどうか、考えてみてはどうでしょうか。
事務局	現状の体育館を残しながら建設を行うことが予定されていますので、メインアリーナや倉庫、会議室などを考慮しますと、四角で大体これ位の大きさになるのではないかと考えます。ですから

	<p>野球場に食い込まないことにしますと、その分他を小さくする必要が出てくると思います。</p>
委員	<p>ライト側はもともと広いのでそんなに影響はなく、むしろレフト側の方が狭いと思います。子供の2面は難しいかもしれないが、大人の1面は十分に取れると思います。</p>
副委員長	<p>今のプールの形状を見ていただいても分かるようにセンターの辺りは変則になっています。もともとプールが野球場側に出っ張ってしまっていて、それを切ってもらったという経緯があります。</p>
委員	<p>新しい体育館ができますと、全体の駐車場が足りないと思います。交通渋滞となれば、近隣住民にも迷惑になるので、もっと確保する必要はないでしょうか。</p>
委員長	<p>市民体育会館の近くには、大雨が降った時に川の水量を調整するため、調整池があります。その上部を覆って活用することもできると思いますので、よい方法を考えていけばいいと思います。</p>
委員	<p>現状の計画においては、市営グラウンドへ一切はみ出さないということは、少し難しいと考えます。ただ、その場合においても野球ができるように考慮しながら新体育館の配置計画は考えていきたいと考えます。また、駐車場の問題についても、現状よりは確実に広くなるわけで、少しは解消すると思います。確かにイベント時には足りなくなることは事実ですが、日常における駐車場の稼働率も考慮しながら検討していく必要があります。</p>
事務局	<p>既存の体育館を残しながら新体育館を建設していきますので、その点においても制約があります。今後、具体的な設計に入っていきますので、建設の施工上、結果として市営グラウンドにはみ出すことなく建設できるかもしれません。</p> <p>基本構想の段階では、どのような施設機能に重点を置いて進めていくのか、メインアリーナの機能を充実していくのか、トレーニング室やフィットネス機能を充実していくのか、団体利用を重視するのか、個人利用を重視するのか、そうした方向性によって大きく変わってきますので、念頭において考える必要があります。</p>
委員	<p>方向性として、個人利用重視型と団体利用重視型とありますが、それぞれの機能を取り入れた大まかな図面は描けますか。</p>
事務局	<p>現在は、基本計画の段階ですので、図面を描くことは設計の段階での作業になってしまいます。</p>

委員	現在の体育館利用も団体利用がほとんどだと思います。これでも足りないくらいで取り合いの状態です。できれば、団体利用中心でお願いしたい。
委員長	どちらの方向性でいくのか、これは今すぐ決められるものではありません。重要なことですので、いろいろと議論し合って考えていかなければなりません。
事務局	現在、議論の中心が空間の陣取り合戦となっており、江南市全体として、新しくできる施設を利用してどのようなスポーツ振興や健康づくりをしていくのか、そうした議論が必要です。
委員	江南市には、総合体育館のようなものは現在の市民体育会館1つしかありません。いろいろな競技団体がある中で、他市町の施設を借りなければ活動ができないような状況です。したがって基本的には団体利用が中心となります。
委員長	せっかく新しい施設を作りますので、メインはそれでいいかもしれませんが、これまで利用してこなかった方も利用してもらえるようなことも考えていく必要もあります。
事務局	資料8 ワークショップの説明。
事務局	<p>次回第4回開催の日程を確認。</p> <p>検討委員会とあわせて、近隣市にある体育施設（北名古屋市健康ドーム）を視察する予定。</p> <p>《第3回江南市新体育館建設検討委員会（専門部会）終了》</p>